



SCS3 システム Traktor LE V1.0.0

必要なもの

- 必要なハードウェア：SCS.3d ×2台、SCS.3m ×1台
- DaRouter のバージョン：V1.1.31 以降
- 更新履歴：V1.0.0（イニシャル・リリース）

はじめに

このプリセットは DJ パフォーマンス・コントローラーである1台の SCS.3m、2台の SCS.3d で Traktor LE をコントロールできるプリセットです。このプリセットにより、楽曲のセクションやローディング、スクラッチや楽曲自体の操作、ミキシングやEQにエフェクトのコントロールなどの操作を、コンピュータに触れることなく行えます。

セットアップとインストール

Traktor LE と DaRouter ソフトウェアのダウンロードがお済みでない場合は、スタントンのウェブサイト (http://www.enterthesystem.com/install/index_3m.php (英文)) からダウンロードしてください。また、このダウンロード・ページからご購入いただきました製品のユーザー登録やマニュアルなどのドキュメントのダウンロードも行えます。ソフトウェアのダウンロードが済みましたら、Traktor LE のインストールを先に行い、その後に DaRouter ソフトウェアのインストールを行います。インストール作業の詳細は、SCS.3d または SCS.3m の取扱説明書をご参照ください。

YouTube™

動画共有サイトの「YouTube™」に、スタントンのチャンネルを開設しました。ぜひご覧ください。
<http://www.youtube.com/user/SCSystem>

登録商標等

Traktor は Native Instruments 社の登録商標です。

スタントン SCS.3 シリーズ・コントローラーは DaRouter™ ソフトウェアとプリセットにより真価を発揮するシステムです。プリセットの改変により機能が損なわれる場合があります。また、DaRouter ソフトウェアと Traktor の併用に関して、Native Instruments 社は一切の保証を行いません。DaRouter ソフトウェア、Traktor 用プリセットに関するすべてのご質問はスタントンへお寄せください。

グローバル・ファンクション (SCS.3m)

グローバル・ファンクションは、SCS.3m のモードと無関係に動作する機能です。FX と EQ リセット・ボタンなどはその好例です。

FX モード・ボタン

このボタンを押すと、対応するチャンネルが FX モードに入ります。FX モードでは、エフェクトとフィルターのコントロールが可能になります。

EQ モード・ボタン

このボタンを押すと、対応するチャンネルが EQ モードに入ります。EQ モードでは、EQ とトランスポート・コントロール（プレイ、キューなど）が行えます。

デッキ PFL モニター

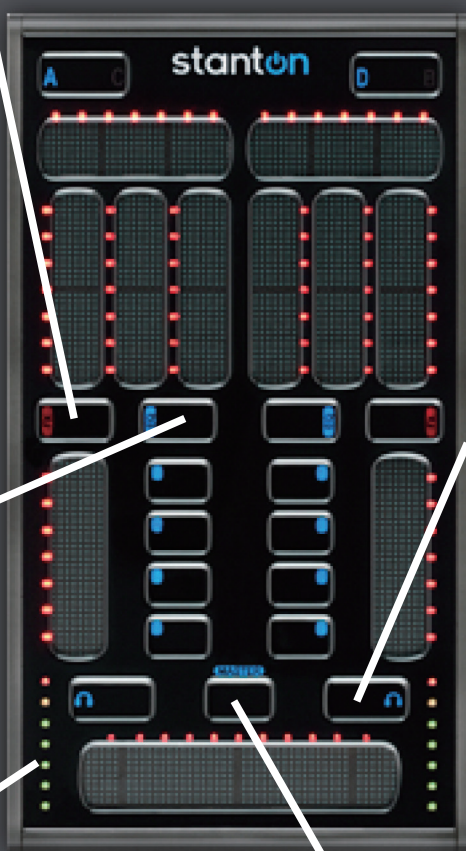
PFL とは、プリ・フェーダー・レベルの略です。この LED ピーク・メーターでプレイ中の音量を確認できます。

キュー・ボタン

対応するチャンネルのオーディオをヘッドフォンでモニターしたい時に、このボタンを押します。

マスター・モード・ボタン

このボタンを押している間だけ、SCS.3m がマスター・モードに入ります。マスター・モードでは、マスター出力レベル、キュー（ヘッドフォン）レベル、キュー・ミックスの調整ができます。マスター・モードは、このボタンを押している間のみ入り、ボタンから手を離すと元のモードに戻ります。



stanton

EQ モード (SCS.3m)

チャンネル・フェーダーの上にある EQ ボタンを押すと EQ モードに入ります。このモードでは、Traktor LE の各デッキに装備された EQ を調整できます。EQ を調整することによりプレイ中の楽曲の音質を必要に応じて変化させられます。ミックス時によく行われる手法に、次にかかるトラックの低域をカットしてからミックスに投入すると自然な感じになる、というものがあります。

パン・コントロール

各デッキのオーディオ出力の定位（左右の位置）をコントロールします。

EQ キル&リセット

トップにあるボタンは EQ の高音域のキルです。これを押すと、高音域が一切カットされます。もう一度押すと元に戻ります。

次のボタンは中音域のキルです。

3番目のボタンは低音域のキルです。

一番下のボタンは EQ リセットで、各バンドの設定を一斉に「0」にできます。

チャンネル・フェーダー

各デッキの音量を調節します。また、EQ ボタンを押している間、このフェーダーで各チャンネルのゲイン調節を行います。

ロー EQ

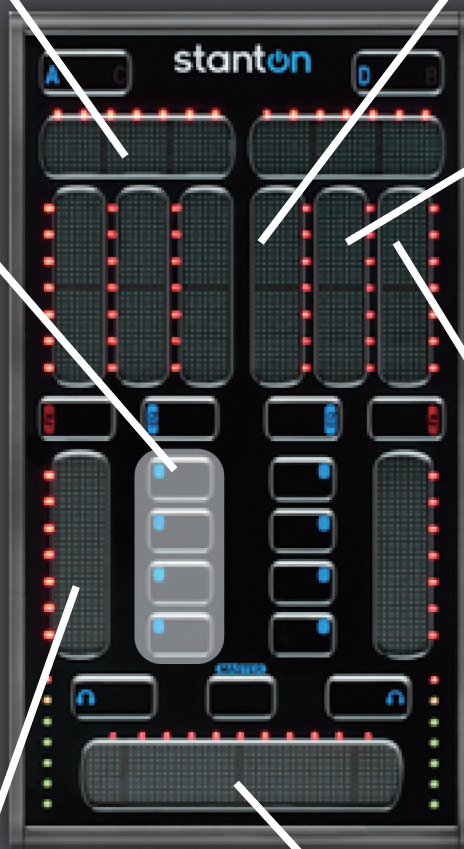
EQ の低音域を調節します。EQ ボタンを押しながらここに触れると、低音域の設定値が「0」になります。

ミッド EQ

EQ の中音域を調節します。EQ ボタンを押しながらここに触れると、中音域の設定値が「0」になります。

ハイ EQ

EQ の高音域を調節します。EQ ボタンを押しながらここに触れると、高音域の設定値が「0」になります。



クロスフェーダー

SCS.3m のチャンネル間のミックスを調節します。左いっぱいにしたときはデッキ A の音が、右いっぱいにしたときはデッキ B の音が出ます。その間の位置に触れた場合はその位置に応じたバランスで両方の音が出ます。

stanton

FX モード (SCS.3m)

FX モードでは Traktor LE のエフェクトのオン / オフ操作、そしてエフェクト・パラメーターのコントロールを行えます。また、キー・ロック機能やフィルターのオン / オフ操作も行えます。FX モードには、チャンネル・フェーダーの上にある FX ボタンを押して入ります。FX モードに入ると、FX ボタンが赤く点灯します。また、SCS.3m のみならず、SCS.3d から Traktor LE の同じエフェクト・パラメーターを操作することができます。

エフェクト・セレクト

ここに触れてスライドすることで、エフェクトを選ぶことができます。

エフェクト・コントロール

トップのボタンは、エフェクトのオン / オフ・ボタンですが、このボタンを押している間だけエフェクトがオンになるボタンです。

2番目のボタンは同じくエフェクトのオン / オフ・ボタンですが、こちらは一度押してオン、もう一度押せばオフになるスイッチ動作です。

3番目のボタンはキー・ロック機能のオン / オフ・ボタンです。

一番下のボタンはフィルターのオン / オフ・ボタンです。

チャンネル・フェーダー

各デッキの音量を調節します。

ドライ / ウェット

ドライ（原音）とウェット（エフェクト音）のバランスを調整します。FX ボタンを押しながらここに触れると、初期設定値（50%）に戻ります。

エフェクト・パラメーター

エフェクト・パラメーターのコントロールを行います。パラメーターの名称はエフェクトの種類によって異なります。FX ボタンを押しながらここに触れると、初期設定値に戻ります。

フィルター

フィルターのコントロールを行います。FX ボタンを押しながらここに触れると、フィルターの設定値が「0」になります。

クロスフェーダー

SCS.3m のチャンネル間のミックスを調節します。左いっぱいにしたときはデッキ A の音が、右いっぱいにしたときはデッキ B の音が出ます。その間の位置に触れた場合はその位置に応じたバランスで両方の音が出ます。

stanton

マスター・モード (SCS.3m)

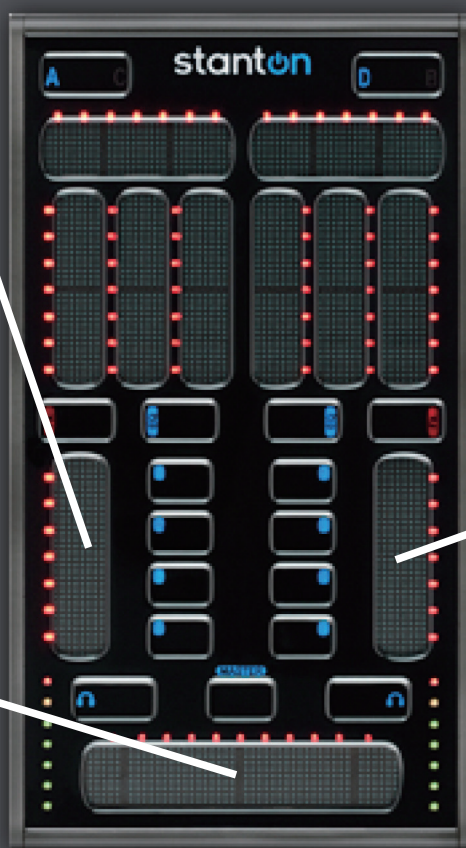
このモードは、クロスフェーダーの上にあるマスター・ボタンを押している間だけ有効になります。マスター・ボタンから手を離すと、元のモードに戻ります。マスター・モードでは、キュー（ヘッドフォン）ボリューム、キュー・ミックス、マスター・ボリュームの調節を行えます。

キュー・ボリューム

この縦スライダーでキュー・ボタン（ヘッドフォンのアイコンがあるボタン）を押したときのヘッドフォンの音量を調節します。キューがオン（アクティブ）になっているときは、ヘッドフォンのアイコンが赤く点灯します。

キュー・ミックス

このクロスフェーダーでキュー・ミックスを行います。キュー・ミックスとは、ミキサーからPAへ出ている音量とヘッドフォンにのみ流れる音量とのバランスを取ることです。DJブースにモニター・スピーカーがない場合や、ブース自体が騒がしい時に便利です。



マスター・ボリューム

このスライダーで Traktor LE 全体の音量（PAへ流れる音量）を調節します。また、ここでの調節は全体音量のみの調節ですから、各チャンネル・フェーダーのバランスやクロスフェーダーの状態など、ミックスそのものには影響しません。

stanton

グローバル・ファンクション (SCS.3d)

グローバル・ファンクションは、SCS.3d のモードに関係なく動作する機能です。本体下部にある4つのボタンはその好例で、本プリセットではモードに無関係で動作するボタンです。

モード・スイッチ

それぞれのモードに入る時に使用するボタンです。

デッキ・ゲイン

チャンネル・フェーダーに入る前のデッキ出力を、このスライダーで調節します。各デッキの出力レベルをここで調整しておけば、チャンネル・フェーダーではミックスのための音量コントロールに専念できます。

プレイ・ボタン

対応するデッキの再生、停止を操作するボタンです。

キュー・ボタン

このボタンを押して設定したキュー・ポイントへ移動することができます。また、キュー・ポイントを設定していない状態でこのボタンを押すと、プレイバック・マーカの位置をキュー・ポイントとして移動します。

デッキ・ピッチ

対応するデッキの再生スピードを調節します。SCS.3d の他のスライダーと異なり、このスライダーは相対モードに対応しているため、より細かなコントロールが可能です。また、このスライダーには一時的にピッチの変更を行うことができるエリアが設定されています。

シンク・ボタン

このボタンを押すと、Traktor LE のパワフルなシンクロ機能を使って2台のデッキにロードしたトラックのテンポを合わせることができます。

タップ・ボタン

このボタンを使い、手動で BPM を設定することができます。プレイしたいトラックがまだテンポ検出処理の済んでいない場合に便利です。

stanton

バイナル・モード1 (SCS.3d)

VINYL ボタンを1回押すと、バイナル・モード1に入ります。このとき、VINYL ボタンが赤く点灯します。このモードでは、デッキにロードしたトラックそのものをコントロールすることができ、キューイングやスクラッチを完璧に行えます。このモードでの主要なコントロールエリアはアウター・ゾーン / インナー・ゾーンの2カ所で両方とも同じ動作なのですが、アウター・ゾーンはコントロール幅を大きく、インナー・ゾーンは細かいコントロールに適しています。どちらも「フィンガー・ジャンプ」テクニックが使えるマルチタッチ機能に対応しています。このテクニックに関する詳細は、SCS.3d の取扱説明書をご参照ください。

ゲイン・リセット

このボタンを押すと、ゲインの設定値が「0」になります。

ピッチ・リセット

このボタンを押すと、ピッチ・スライダーの設定値が「0」になります。

アウター・ゾーン

デッキにロードしたトラックを、広いコントロール幅で操作します。時計回りに指をスライドさせればトラックが早回しのように再生され、逆に反時計回りに指をスライドさせれば巻き戻しのようにトラックが再生されます。

インナー・ゾーン

デッキにロードしたトラックを、狭いコントロール幅で操作します。より正確なキュー・ポイントを設定する時に便利です。指を上へスライドするとトラックが早送りされ、下へスライドすれば巻き戻しになります。

ピッチ・ナッジ・スロー

このボタンを押している間だけ、トラックの再生スピードが一時的に遅くなります。ピッチ・ナッジは一般的に、ビート・ミキシングをするときに便利な機能です。

ピッチ・ナッジ・ファスト

このボタンを押している間だけ、トラックの再生スピードが一時的に速くなります。ピッチ・ナッジは一般的に、ビート・ミキシングをするときに便利な機能です。

stanton

バイナル・モード2 (SCS.3d)

VINYL ボタンを2回押すとこのモードに入ります。このとき、VINYL ボタンは紫に点灯します。このバイナル・モード2は、2つのトラックのテンポを合わせるビート・マッチを行うためのモードです。バイナル・モード1ではピッチ・フェーダーやビップ・ナッジなどがありましたが、モード2ではこれらに加えて LED によるビートのズレをモニターすることができ、より分かりやすくビート・マッチを行うことができます。

ピッチ・リセット

このボタンを押すと、ピッチ・スライダーの設定値が「0」になります。

ゲイン・リセット

このボタンを押すと、ゲインの設定値が「0」になります。

インナー・ゾーン

インナー・ゾーンではデッキのピッチ・コントロールを Traktor で使用可能な最高精度で行えます。

アウター・ゾーン

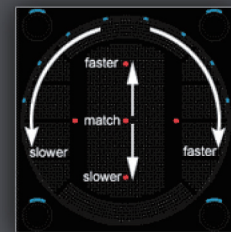
CD プレイヤーのジョグ・ホイールのようにトラックのピッチ・コントロールを行います。時計回りで早回し、反時計回りで巻き戻しとなります。

ピッチ・ナッジ・スロー

このボタンを押している間だけ、トラックのピッチが遅くなります。ビート・ミキシング時に効果的です。

ピッチ・ナッジ・ファスト

このボタンを押している間だけ、トラックのピッチが速くなります。ビート・ミキシング時に効果的です。



LED フィードバック

Traktor LE のフェイズ・メーターを、SCS3d の中央と周囲に並んだ LED でモニターすることが可能です。2台のデッキのテンポが合っていない場合、より速くすべきか、遅くすべきかの指示を LED で表示します。詳しくは、Traktor LE と SCS.3m の取扱説明書にありますフェイズ・メーターの項目をご参照ください。

stanton

ループ・モード (SCS.3d)

SCS.3d のループ・モードを使って、選択したデッキのループ設定などが行えます。手動でのループ設定のみならず、ロードしたトラックの BPM から自動的に割り出したループを扱うことも可能です。このオート・ループは音楽的にも正確で、しかもボタンひとつでできる非常に便利な機能です。

機能未設定ボタン

このプリセットでは、これら2つのボタンに機能を割り当てていませんが、MIDI 信号は出るようになっていいますので、自由に機能を割り当てることができます。

オート・ループ

このエリアをタッチすると、Traktor のループ・ウィジェットで設定された長さのループをスタートさせることができます。すでにループがスタートしている時にこのエリアをタッチすると、プレイ中のループが停止します。

マニュアル・ループ・イン

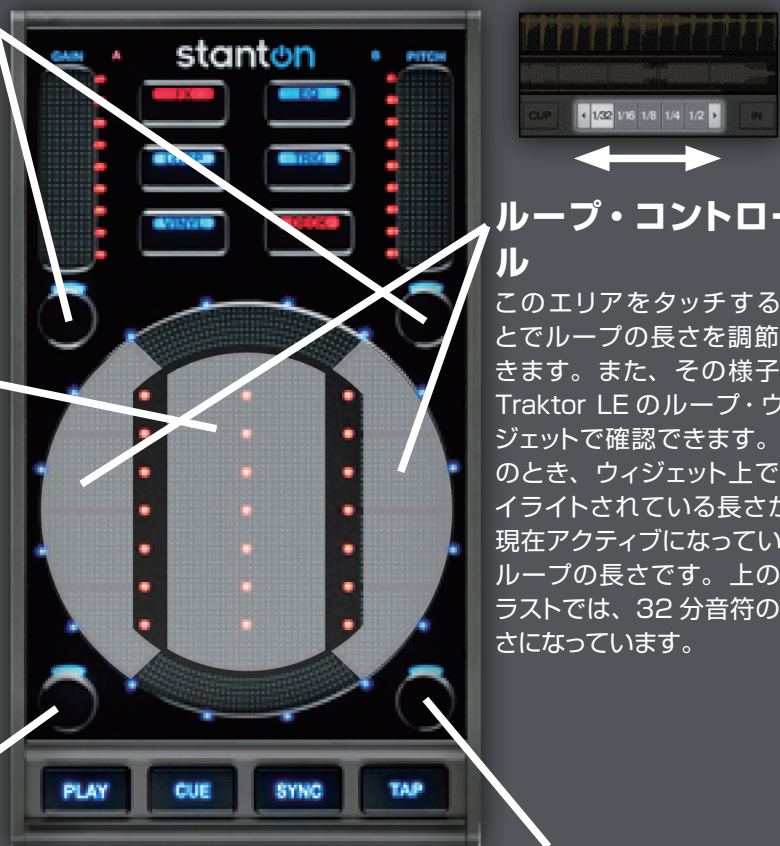
このボタンを押して手動でループのイン・ポイントを設定することができます。手動でポイントを指定しても、実際には直近のビート・グリッド上に設定されるため、イン・ポイントがビートに対してズレてしまうようなことはありません。

マニュアル・ループ・アウト

このボタンを押すことで、マニュアル・ループのアウト・ポイントを設定できます。イン・ポイントを設定したあとにアウト・ポイントを設定した時点でループが自動的にオンになります。

ループ・コントロール

このエリアをタッチすることでループの長さを調節できます。また、その様子を Traktor LE のループ・ウィジェットで確認できます。このとき、ウィジェット上でハイライトされている長さが、現在アクティブになっているループの長さです。上のイラストでは、32 分音符の長さになっています。



stanton

トリガー・モード - ブラウザー・コントロール (SCS.3d)

Traktor LE で設定できるキュー・ポイントの数が限られているため、このプリセットのトリガー・モードではブラウザー・コントロールを行うためのモードとして使用できるようにしました。このモードで Traktor LE のデッキにロードするトラックを探したり、ロードさせることが可能です。また、デッキ2台分のブラウザー・コントロールが可能ですから、2台の SCS.3d を使用している場合には一方をブラウザー・コントロールに、他方をその他のモードでコントロールするというのも思いのままです。

ロード・ネクスト A

このボタンを一回押すと、プレイ中のトラックの終わりにプレイバック・マーカースが移動し、もう一回押すと次のトラックがデッキ A にロードされます。

ロード・ネクスト B

このボタンを一回押すと、プレイ中のトラックの終わりにプレイバック・マーカースが移動し、もう一回押すと次のトラックがデッキ B にロードされます。

アウター・リング

アウター・リングでソング・ライブラリーを素早くスクロールさせることができます。

インナー・リング

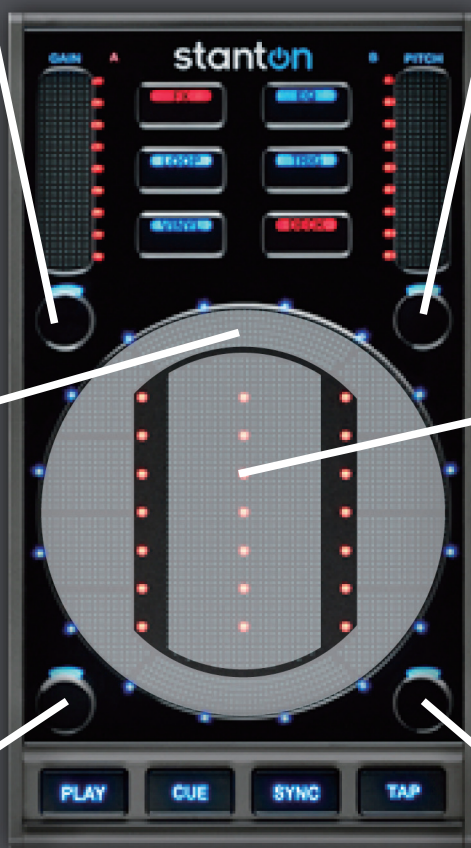
インナー・リングではソング・ライブラリーをより正確にスクロールさせ、トラックを選びやすくしています。

ロード・デッキ A

このボタンを押して、ライブラリー上でハイライトしているトラックをデッキ A にロードさせます。

ロード・デッキ B

このボタンを押して、選択したトラックをデッキ B にロードさせます。



stanton

FX モード (SCS.3d)

FX モードは Traktor LE のエフェクトをコントロールするためのモードです。1 台のデッキにひとつのエフェクトを割り当てることができます。これとは別にフィルターも同時に使えますので1台のデッキにつき2種類のエフェクトを使用できると言っても良いでしょう。

FX モードに入っている時に、FX モード・ボタンを押すとひとつ先のエフェクトをロードすることができます。

FX オン (一時的)

このボタンは、押している間だけエフェクトがかかるボタンです。ディレイやフランジャーなど、一瞬だけエフェクトをかけたい時に便利です。

FX ドライ / ウェット

このスライダーで原音とエフェクト音のバランスを調節します。上へ上げるほどエフェクト音が大きくなり、下げればエフェクト音が小さくなります。

デッキ・キー・オン / オフ

このボタンを押すとデッキのキー・ロックがオンになり、ピッチを変えずにトラックのスピードを変化させることができます。

FX オン (トグル)

エフェクトのオン / オフ・ボタンです。エフェクト・オン時にはこのボタンが赤く点灯します。

FX パラメーター

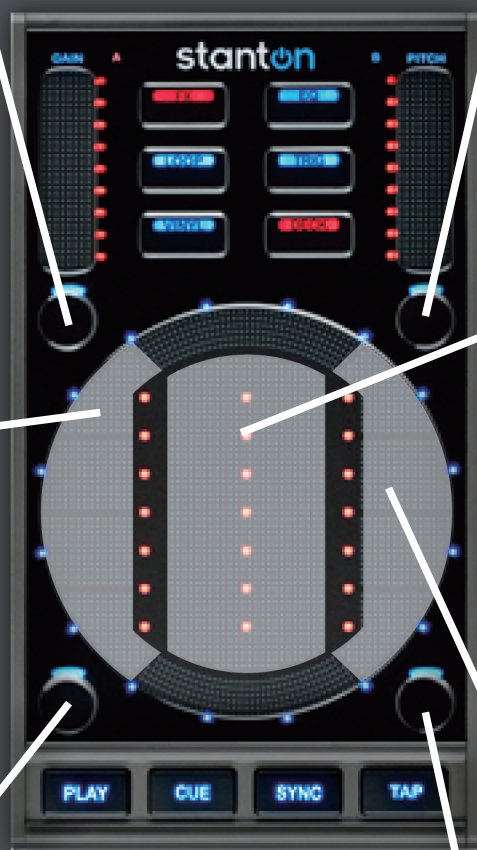
Traktor LE のすべてのエフェクトはパラメーターがひとつだけとなっています。このスライダーでは、そのエフェクト・パラメーターをコントロールします。また、エフェクト・パラメーターはエフェクトの種類によって異なります。

デッキ・フィルター

各デッキに各1基のフィルターがあり、このスライダーでコントロールすることができます。

デッキ・フィルター・オン / オフ

デッキ・フィルターのオン / オフ・ボタンです。



stanton

EQ モード (SCS.3d)

EQ モードでデッキの EQ をコントロールできます。このモードでは、SCS.3d のサークル・エリアを3分割してそれぞれ3本の縦スライダーとして使用できます。各スライダーに EQ の各バンドが対応しています。また、その周囲にあるボタンは各バンドのキル・スイッチで、スイッチを入れると対応したバンドの帯域を完全にカットするものです。また、各バンドの EQ 設定値を一斉に初期設定値へ戻すリセット・オール・ボタンも装備しました。

ハイ EQ スライダー

このスライダーで EQ のハイ（高音域）を調節します。上へ上げると高音域が強調され、下げると弱まります。

ミッド EQ スライダー

EQ のミッド（中音域）に対応するスライダーです。指を上へスライドさせると中音域の音量が上がり、下へスライドさせると下がります。

ロー EQ スライダー

このスライダーで EQ のロー（低音域）をコントロールします。上げるとキックやベースなどの低音域が強調され、下げるとそれが弱まります。

EQ リセット・オール

このボタンを押すと、EQ の各バンドの設定値が一斉に「0」になり、EQ のかかっていない状態になります。

ハイ EQ キル

このボタンを押すと、EQ のハイが完全にカットされ、ハイ EQ スライダーで最低値にしたときと同じ状態になります。

ミッド EQ キル

このボタンで EQ のミッドを完全にカットすること（ミッド EQ スライダーを最低値にした状態）ができます。

ロー EQ キル

他の EQ キル・スイッチと同様、EQ のローを完全にカットしたい時にこのボタンを押します。

stanton